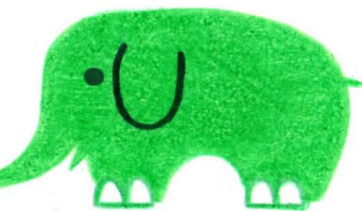


ぱおぱお ニュース



< 病 気 の 豆 知 識 >

今月は…『ヘルパンギーナ・手足口病』です

いわゆる“夏かぜ”と呼ばれる感染症のうち、最も多く見られるものです。いずれも主にコクサッキーウイルスが原因なのですが、症状の出方が少し異なります。潜伏期間は2～6日です。以前かかったことがあってもまたうつることがあります。



★ ヘルパンギーナ ★

突然39℃前後の熱が2～3日続きます。口の中をのぞくと、喉の奥に赤いプツプツや白い膿などの口内炎がみえます。



★ 手足口病 ★

その名のように手のひら・足の裏・口の中に赤い水疱ができる病気です。お尻やひざなどにできることもあります。手足の水疱は痛がりませんが、口の中が痛くて食べられなくなることがあります。

★ 手当てのポイント ★

- ・どちらも特効薬はありません。安静を保ち自然に治るのを待ちます。
- ・口の痛みで“飲まない・食べない・むずがる・よだれが増える”ということがよくあります。
- ・脱水にならないように、注意が必要です。
- ・おしっこの回数が一日3回以上あるように水分を十分に与えましょう。飲めないときは少量ずつ頻回に与えてください。
- ・食べ物は口の中を刺激しないように、薄味の物ややわらかい物、水分を多く含んだ物がいいでしょう。



汁物やフルーツなどはしみる場合もあるので、注意して試すなどして気をつけてあげましょう。

うどんやそうめんなどの麺類はのど越しもよく食べやすいようです。



プリンやアイスなどは冷たくて痛みも感じにくいですが、カロリーも摂れますね。



バナナなどの果物類は大好きで食べてくれることも。



★ 登園・登校 ★



水分もとれずにぐったりしている場合には、早めに受診しましょう。

熱もなく元気で、口内の痛みもなく食事ができるようなら、発疹があっても登園・登校してかまいません。

< 感 染 症 情 報 >



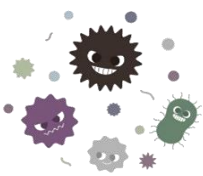
子ども診療所では…

- ・まだRSウイルスが多く、胃腸炎も変わらずです。
- ・他の感染症が少し出てきています。

病児保育室ぱおぱおでは…

- ・RSウイルスでの予約は落ち着いてきましたが、検査では陰性でも気管支炎症状のお子さんが目立ちます。

< ぱおぱおの利用について >



今年は全国的にRSウイルスが大流行でした。
昨年は新型コロナウイルスの感染対策に伴い、RSウイルスの感染が広がらず、小さいお子さんたちが免疫を持っていなかったことが影響しているようです。

ぱおぱおでは入室予約が殺到し、大変混み合いました。毎日キャンセル待ちが定員数の倍以上いる状況で、ご予約が取りにくく、ご不便をおかけしました。そこで、今回お問い合わせの多かった内容について改めてお話いたします。



< 電話予約について >

・必ずしも先着順ではありません。

ご予約頂いたお子さんの年齢や病状などを考慮した上で決めさせていただいております。日中(10時~17時)のご予約では18時頃、夜間(18時~21時)のご予約では21時頃に結果をメールで送ります。

みなさまに安心・安全な病児保育を提供するために必要な対応ですので、どうぞご理解ください。

< 連日利用希望について >

・予約が混み合う時期は連日利用が出来ないこともあります。

当施設は立川市の委託事業として運営しており、なるべくみなさま平等にご利用いただけるよう配慮しております。RSウイルスやインフルエンザなど、経過が長引く感染症が流行ると、連日利用の希望者も増えます。そのため、連日利用ご希望の場合は、優先順位が下がる場合があります。



病児保育室では隔離が必要な感染症以外は、一般のお部屋で一緒にお預かりしていますが、保育園のようにみんなと一緒に遊ぶわけではなく、症状を見て必要あれば遊ぶスペースを区切り使用する玩具を分けて接触を減らすなどの配慮をしています。

玩具など手の触れる物は毎日消毒していますが、小さいお子さんが舐めた玩具はその子専用にしたり、洗って消毒してから他のお友達が使えるようにしています。



あと、保護者の方によく驚かれるのは、午後も医師がぱおぱおに来て診察をしていることです。お子さんの症状は良くも悪くも変化が早く、朝の診察時の様子とは変わってくることも多いので、回診をしています。子ども診療所併設の病児保育室だからこそ、安心・安全ですね。

これからも地域のみなさまが利用しやすい病児保育室を目指していきますので、ご理解ご協力のほど、よろしく願いいたします。

お問い合わせ 病児保育室ぱおぱお 042-521-2777



現在、新型コロナウイルスの流行拡大に伴い、病児保育ご予約の際には、同居ご家族の体調などについてもお聞きしています。

また、当日朝の診察時に医師の判断でお預かりをお断りする場合がありますので、ご理解・ご協力の程よろしく願いいたします。

